

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	予 算 特 別 委 員 会 総 務 文 教 分 科 会	会 議 場 所 第 3 委 員 会 室	
		担 当 職 員 井 上	
日 時	令 和 2 年 3 月 1 3 日 (金 曜 日)	開 議	午 後 1 時 0 0 分
		閉 議	午 後 1 時 1 5 分
出 席 委 員	◎ 山 本 ○ 松 山 三 上 浅 田 木 村 福 井 木 曾 石 野		
理 事 者 出 席 者			
事 務 局	井 上 事 務 局 次 長		
傍 聴 者	市 民 0 名	報 道 関 係 者 0 名	議 員 0 名

会 議 の 概 要

1 3 : 0 0

[市長質疑項目確認]

<山本委員長>

市長質疑項目の確認をさせていただく。5項目上がっている。

1点目は、市長公室の移住・定住促進経費である。「離れ」にのうみは観光振興施設へ切り替えるべきとした令和元年9月の決算特別委員会事務事業評価結果が反映されておらず、新年度からは指定管理者制度を導入し、指定管理者と協力して今まで以上に発展していけるよう努めていきたいという担当課からの発言があったが、改めて、今後の見通しについて市長に質していきたいと思う。

2点目は、企画管理部の市政運営全般についてであるが、頻発する自然災害や新型コロナウイルスなどによって、突発的な財政出動や税収減が想定される中で、持続可能な財政運営についてどのように考えているのか。また、市民福祉の増進のために重要な諸課題の優先順位をどのように考え、第5次総合計画にどのように反映させていく考えなのかということをも市長に質していきたいと思う。

3点目は、生涯学習部の文化振興経費である。かめおか霧の芸術祭に係る経費については、昨年より500万円予算が増額されているが、KIRIカフェで何をしようとしているのか。また、市民に感動を与えるものになっているのか。現代アートがわかりにくい。本当に市民理解を得られるものであるのかなど、分科会でさまざまな意見が出た中で、かめおか霧の芸術祭について、市長が目指す方向性を質していきたいと思う。

4点目は、生涯学習部の地域交流促進経費である。これについては、平成30年9月決算、また、平成31年予算においても指摘要望事項に上げた。NPO法人に委託して実施している隣保館デイサービス事業について、決められた委託料とは別に、プラスアルファとして利用者から実費を徴収していたという事実があり、徴収した実費負担分がどのような形で使われたのか、また、どのような会計処理がされたのかについて、再三にわたり明らかにするよう議会から指摘しているにも関わらず、未だに実費負担分の使途が明らかにされていないのはなぜかという点と、令和2年度亀岡市立人権福祉センター隣保館デイサービス事業の業務委託先を、公募型プロポーザル方式で業者を選定しようとしているが、応募は先のNPO法人1者という

ことで、これまでと同じNPO法人に委託することが想定されるが、本当にそれでいいのかということを経理に質していきたいと思う。

5点目は、教育部のふるさと学習推進経費である。京都スタジアム・大河ドラマ館等見学に係るバス運行経費については、ふるさとを理解し、愛着を育む教育を推進するために、既存の有意義な教材であるわたしたちのまち亀岡という社会科副読本を使う授業時間の確保もできていない中で、時間とお金をかけてこの事業にどの程度効果があるのか。また、新型コロナウイルスの影響によって、今後、授業時間数の不足が見込まれた場合、この事業の実施については、柔軟に対応する考えはないのかということについて、市長に質していきたいと思う。

以上5点を市長質疑に上げていきたいが、意見はあるか。

<三上委員>

3点目のかめおか霧の芸術祭については、市長はコンセプトのようなことしか言わない可能性がある。市長にも覚悟して答えてもらおうと思うなら、もう少し、他の項目と同じように課題が見えてくるような質問にすべきではないか。また、5点目のふるさと学習推進経費の中の論点で、「有益」とあるが、「有効な」とか「効果のある」の方がいいと思う

<山本委員長>

「既存の教育効果のある教材」とする。かめおか霧の芸術祭について意見はあるか。

<福井委員>

委員長が今言われたことが論点なので、箇条書きで書いておけばどうか。

<山本委員長>

かめおか霧の芸術祭について、市民に感動を与えられるものなのか、理解してもらっているものなのかという声があるが、市長が目指す方向性はどうかということについていいか。

<三上委員>

市長は、何を目指して、どこをゴールと考えて、いつまでするのかということが聞きたい。恒久的にするというのであれば、市民が理解し納得するものでないと続かないということは言いたい。

<木曾委員>

この財源の1/2は、ふるさと力向上基金である。恒久的財源ではないので、心配なところもあるということを経理に質したいと思っている。

<山本委員長>

2点目、市政運営全般に関してこういう意見が出てきたのは、歳入に財政調整基金が3億円上がっており、ふるさと力向上基金が7億円であるが、いざという時のために積み残しておかないといけないのではないかということが発端だということではなかったか。

<木曾委員>

その通りである。

<福井委員>

3点目は、市民福祉の増進につなげるべきであるのに、私の一般質問に対しても、市長は由布院からも注目されたと答弁した。外に発信するのであれば、そのような作り方をすべきである。どちらを目指しているのかということも聞きたい。

<事務局次長>

3点目は、「市民が理解し、市民に感動を与えられる事業なのかという声があるが、市長が目指す方向性は。」ということについていいか。また、1点目の最後を「今後の見

通しは。」としているが、「今後の事業運営の見通しは。」としていいか。

<山本委員長>

担当課の説明では、今年度から指定管理者を導入し、数年間は移住・定住促進施設として運営したいということであったが、市長はどのように考えているのかを聞きたい。

13 : 15